

97⁰

2. 長沙 (湖南)

REEL No. A-0020

0084

アジア歴史資料センター

昭和3 六三七九 暗

長沙 本省

五月廿三日前着

亞

田中外務大臣

第四〇號

掃谷領事

濟南事件ノ反響ニ關シテハ累次電報ニ通ナルカ其ノ後當地ハ不相
變ノ新聞紙ノ逆宣傳的記事及反日社論。各軍隊各團體ヨリノ連日
ノ反日通電乃至ハ今般農。工。商。學。教育其ノ他各團體代表ニ
依リ改組セラレタル 湖南人民反日外交後援會（公信第一一四號
參照）ノ對日經濟絕交ノ宣傳等ニ表面如何ニモ反日氣勢益々烈々
タルモノアルカ如キモ事實ハ之ニ反シ時日ノ經過ト省當局ノ變ラ
サル指導取締トニ依リ一般ノ空氣漸次沈靜ニ向ヒツツアリ此ノ上

官憲ノ取締ニシテ一應徹底シ是等逆宣傳並ニ「ピラ」貼紙等一掃
セララル事トモナラハ毫モ平日ト異ル事無キ程ノ狀態ナリ
次ニ從來隅田一隻ニテハ萬一ノ場合邦人保護行届カサルノ慮アリ
タルカ昨廿一日軍艦保津入港シ當地ハ我警備艦二隻ヲ有スル事ト
ナリタルヲ以テ此ノ方ノ不安モ殆ト皆無トナリ旁去ル十日自發的
ニ中ノ島へ避難シタル邦人婦女子ハ一時夫々歸宅スル事トナレリ
當地一般ノ狀況ハ大體右ノ如クニシテ官憲ノ取締方針ニ變化ナ
キ限リ先ツ排日暴動ノ起ル事ナカルヘキモ只懸念セララルルハ對日
經濟絕交ヲ宣傳シツツアル前記反日外交後援會ハ蠢動ニシテ本會
ノ行動ニ關シテハ本官ヨリ時々支那側ニ警告ヲ與ヘ居レリ一國會
ハ今日迄ノ處宣傳以外未タ何等具體的行動無キモ現ニ總商會ハ彼

等ヨリ對日經濟絶交實行ノ交渉ヲ受ケ居ル趣（明廿三日會議ヲ開キ態度ヲ決定スヘシト傳ヘラル）ニテ又一般支那商人中ニモ右宣傳ニ刺戟セレ排日貨ヲ豫想シ當地邦商ヨリ日貨ノ仕入レヲ急キ居ル事實モアリ又上海ノ取引先ニ對シ日貨ノ發送見合セ方電報セル向モアルトノ事ナレハ此ノ方面ニハ今後トモ多クノ影響ハ蓋シ免カレ得サルヘシ

尙昨廿一日ハ昨年長沙ニ於ケル軍隊、共產黨衝突事件ノ一週年記念日ナリシヲ以テ警備司令部ニ於テハ警戒ヲ嚴ニシ夜間ハ戒嚴ヲ施行シタルモ異狀無カリキ

在支公使、漢口、上海、九江へ轉電セリ

27

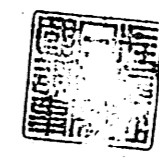
亞細亞局

公信第一二一號

昭和三年五月二十六日

在長沙

領事 糟谷廉二



外務大臣男爵 田中義一 殿

對日經濟絕交公約公布ニ關スル件

湖南人民反日外交後援會ノ組織内容ニ關シテハ本月二十一日附往
信第一一四號ヲ以テ報告濟ノ處同會ハ一昨二十四日第七次委員常會
ヲ開キ別紙ノ通全文二十二ヶ條ヨリ成ル對日經濟絕交公約ヲ議決
公布シ具體的排日運動ニ關シ躍氣トナリテ宣傳大ニカメ居ルモ一般
民衆ハ冷靜ニシテ何等ノ反響ナク却テ日貨ノ騰貴ヲ來ス等自繩自縛
ノ不利ニ陥リ現時表面的ニ何等惡化ノ現象ナキ處最近漢口排日運動

在長沙領事館

(分類 A.1.1.0. 2-4)
4/2112

記録簿

昭和三年六月拾壹日 接受

附屬印紙

已號用紙

(已號用紙)

員ノ一部カ當地ニ入り込ミ排日運動ノ煽動ニ奔走シ居ル趣ニテ或程
度迄惡化ノ懸念ナシトセサルヲ以テ本官ハ二十六日早速交渉員毛鐘
才ヲ訪問シ該公約等ニ關シ抗議的詰問ヲナシタル處同交渉員ハ該排
日宣傳運動ハ年少ノ若輩共カ血氣ニハヤリテ宣傳シ居ル處ナルカ是
ハ中央政府ノ方針ニモ反スルヲ以テ今般湖南省政府主席ニ任命セラ
レタル魯滌平カ漢口ヨリ來長ヲ俟ツテ商議ノ上何等適當ノ方法ヲ定
メ嚴重ニ取締ル旨明言セリ次イテ何鏡ヲ訪問シ該排日運動ニ言及シ
タル處彼モ亦當地警備司令胡文斗カ清鄉ノ爲メ劉陽平江一帶ニ赴ク
コトトナリタルヲ以テ其後任ハ魯滌平ノ上決定スヘキモ差當リ第三
十五軍教導師長王東原ヲシテ當地ノ治安維持ニ當ラシメ該排日運動
ハ十分取締ル旨言明シ居ルモ元來當地ハ排外熱ノ旺盛ナル地方ニ付
必ラスシモ樂觀ヲ許サス將來ノ成行ニ應シ機宜ノ措置ヲ講スヘシ
右何等御參考迄報告ス

本信寫送附先 在支公使 在上海、漢口、九江各領事官

在長沙領事館



湖南人民反日外交後援會經濟絕交公約

(已號川紙)

- 第一條 本條例ハ代表大會決議案ニ依リ規定ス
- 第二條 凡ソ中華民國ノ國籍ヲ有スル男女ハ日本商店ヨリ貨物ヲ購入スルコトヲ得ス、違犯者ハ該貨物ヲ沒收ス
- 第三條 各公司商店ニシテ本條例公布以前ニ所有シタル日貨ハ一切本會ヨリ期限ヲ定メテ夫々登記セシムルト共ニ點檢ノ上本公約宣佈ノ日ヨリ四十日以内ニ悉ク賣却セシム若シ期日ヲ越ヘテ日貨ヲ所有スル者アラハ差押處分ヲナシ違犯者ハ沒收ス
- 第四條 凡ソ各公司商店ハ即日上海漢口ノ取引商店ニ對シ日貨ノ購送方停止ヲ打電スヘシ
- 第五條 各公司商店ノ未着ノ註文品又ハ陸揚未濟ノ既着日貨ハ本公約公佈ノ日ヨリ一律ニ登記シ以テ陸揚々時ニ於テ差押處分ヲ免ルヘシ違犯者ハ一切沒收ス
- 第六條 各公司商店ハ早速仲買人及貨物仕入員ニ對シ以後ノ日貨購入ハ十分慎重ニ取調ノ上外面ノミノ模樣換等ニヨリ混入購買セ

在長沙領事館

(已號川紙)

サル様打電スヘシ之カ違犯者ハ沒收ス

- 第七條 凡ソ外貨ノ行商人ハ本會ニ到リ日貨不賣ノ誓明ヲナシテ營業證ヲ受領シタル者ノミ營業ヲ許可ス違犯者ハ該貨物ヲ沒收スルト共ニ其ノ營業ヲ停止ス
- 第八條 貨物運搬苦力ハ該運搬苦力頭ニ責任ヲ負ハシメテ日貨ノ運搬ヲ禁止セシム、第一回ノ違犯者ハ苦力頭ニ對シ運搬シタル貨物價格ノ百分ノ五十二該當スル罰金ヲ課シ第二回違犯者ハ罰金額ヲ倍加スルト共ニ該工作ノ停止ヲ命スルコトヲ得
- 第九條 各工場ノ必須原料及藥品ニシテ之ニ代用スヘキ國貨及歐米貨ナキ時ハ先ツ該貨物ノ様式、品質、重量、數量及理由ヲ詳細ニ報告シ本會ノ審査ヲ經テ許可證ヲ得タルモノノミ始メテ購入スルコトヲ得
- 第十條 日本紙幣ヲ使用スルコトヲ得ス違犯者ハ沒收ス
- 第十一條 日本ノ銀行或ハ商店ニ對シ預金及爲替取組ヲナスコトヲ得ス違犯者ハ沒收スルト共ニ新聞紙上ニ發表シテ一般民衆ト共

在長沙領事館

ニ之カ使用ヲ禁止ス

第十二條 旅客ハ日本船舶ニ搭乘スルコトヲ得ス違犯者ハ違約金ノ徵收或ハ市街ヲ遊行セシム

第十三條 船舶及運送店ハ日貨ノ積載及代理運送ヲナスコトヲ得ス違犯者ハ該貨物ノ價格ニ該當スル罰金ニ處ス

第十四條 乘船券賣買處ハ日本船乘船券ノ代理販賣ヲナスコトヲ得ス違犯者ハ一回ニ付二百元ノ違約金ニ處ス

第十五條 石炭白米及原料ハ日本ニ供給スルコトヲ得ス違犯者ハ該貨物ノ没收或ハ五百元以上ノ違約金ニ處ス

第十六條 各新聞紙、雜誌、活動寫眞館ハ日商ノ廣告ヲ登載スルコトヲ得ス違犯者ハ百元以上ノ違約金ニ處ス

第十七條 凡ソ私人ノ牆壁ニハ日商ノ廣告商標ヲ其儘貼付或ハ立掛クルコトヲ得ス

第十八條 日本ノ保險會社ニ對シ保險ヲ附スルコトヲ得ス違犯者ハ該保險金ト同等ノ違約金ニ處ス

(已號用紙)

在長沙領事館

第十九條 各印刷局ハ日本人ノ印刷ヲ引受クルコトヲ得ス違犯者ハ五百元以上ノ違約金ニ處ス

第二十條 二回以上本條例ニ違反シタル者ハ處罰ヲ倍加ス

第二十一條 本條例ハ全体委員會通過公佈ノ日ヨリ施行ス

以上

(已號用紙)

在長沙領事館

不及稿

昭和3 六九四四 暗

本省

五月卅一日前着

亞

田中外務大臣

糟谷領事

第四三號

各方面ノ排日宣傳ニ迷ハサレ今次外交後援會ノ對日經濟絕交運動ノ真相ヲ看破スルノ冷靜ヲ缺キ既ニ一部商人間ニハ後援會ニ對スル氣乗ヨリ邦人ノ買物乃至邦人貨物ノ運搬ニ應セサル向モ出テ來リステハ邦人ノ衣食住ニモ不自由ヲ來ス虞アルノミナラス其ノ間何等誤解ノ發生モ氣遣ハレタルヲ以テ本官ハ重ネテ交渉員ニ對シ至急取締ヲ要求スル處アリ之ニ對シ交渉員ハ即刻現ニ猶省首席タ
ル陳嘉祐ニ移牒シ陳ヨリ邦人ノ生命財產保護ニ全責任ヲ持ツ事並

省黨部指導委員會ヲシテ嚴ニ指導取締ヲ爲サシムル明答ヲ得タル
趣ナリ

何レ本件取締並邦人ノ生命財產保護方ニ付テハ本官ハ出來得ル限
リ速ナル機會ニ於テ魯滌平（魯ハ本三十日清鄉督辦ニ六月二日省
首席ニ正式就任スル筈）ニ會見ノ上篤ト申入ルル所存ナルカ漢口
總領事ヨリノ累次ノ電報ニテモ御承知ノ通武漢政治分會署要人ノ
對日感情ハ大體良好ニシテ又一一般商民ニ於テモ元々排日貨等ハ願
ハサル處ナルヲ以テ今後支那側當局ニ於テ誠意アル取締ヲ實行ス
ル以上之以上ノ惡化ヲ見ル事ハ萬ナカルヘク尙此ノ種地方ニ於ケ
ル排日風潮ノ緩和策トシテハ之カ傳波ノ系統今差當リ（南京政府
ノ威令カ徹底スルヤ否ヤハ別トシテ）御際元上海方面ノ排日運動

孤歴カ先決問題カト存セラル

尙排日運動ノ擡頭ニ依ル影響ハ日清最速ニ最大ニ漢口當地間定期

船貨客殆ントナシ

北京、漢口ニ轉電シ上海、南京へ暗送セリ

長沙
本省

六月三日後着

亞

田中外務大臣

第四四號

糟谷領事

魯滌平ハ五月三十日湖南清鄉督辦ニ六月一日省政府首席ニ正式
就任セリ

往電第四三號末段ニ關シ豫テヨリ交渉員ヲ通シ魯ニ會見申込置
キタル處就任早々繁忙ノ際ニ拘ラス快ク是ヲ應諾シ本二日交渉
署ニ於テ會見ス先ツ本官ハ今次ノ濟南事件ニ付一應ノ説明ヲ試
ミタル後事件解決ニハ自ラ責任當局ノ存スルアリ此ノ際當省ニ
關スル限り協力シテ何等事端ノ發生ヲ防止スルコトノ最モ望マ

シキ旨ヲ述ヘ當地方ノ治安ノ維持排日運動ノ取締リ邦人ノ生命
財產ノ保護方ニ關シ篤ト申込タル處魯ハ交渉員ヨリ委細承知シ
居レリ一般人民ノ愛國運動ヲ一概ニ彈壓スルコトハ固ヨリ考物
ナルモ其越軌行動ヲ嚴禁スヘキハ當然ナルノミナラス既ニ各方
面ニ對シ慎重行動方命令ヲ發シ居リ貴國人ノ生命財產ノ安全保
護ニ付テハ自分ニ於テ責任ヲ以テ保障スヘキニ付安心アリタキ
旨答ヘ其ノ間誠意ノ認ムヘキモノアリタリ
右魯ノ取締カ果シテ何ノ程度ニ徹底スルヤハ一ニ今後ノ實際ニ
徴セサルヘカラスル處兩三日來其ノ取締ノ誠意ヲ信スヘキ具体
的事實トシテハ
(4)新聞論調ノ若シキ緩和ト排日記事ノ減少

(四) 反日外交後援會ノ對日經濟總交公約案ノ緩和

(イ) 昨一日ノ當地六一事件記念日ニ際シ學生ノ休業宣傳隊ノ紀念講演ノ禁止並邦人居住地ニ巡查隊ヲ派遣シ又城内ニ軍隊ヲ配置シテ特ニ警戒ヲ嚴ニシタル結果懸念セラレタル六一記念日モ平常以上ニ平穩ニ経過セル事實

(ニ) 排日「ボスター」宣傳ビラノ著減

等ヲ擧ケ得ヘク此ノ分ニテハ武漢衛常局ノ該意アル取締ト相俟テ當地ノ排日貨運動モ是以上惡化スルコトナカルヘシ現ニ一時客足ノ止リタル邦人商店ノ支那人顧客モ漸次増加シツツアリ日清碼頭ノ苦力等モ絕對ニ罷工セサル中合ヲ爲シタル趣ナリ

北京、漢口へ轉電シ上海、南京へ暗送セリ

在長沙領事館

ニ反日提倡國貨宣傳銅要ト題シ對日經濟絕交、國貨提倡ノ宣傳文ヲ揭
 ケタルニ付何等御參考迄其概要ヲ摘譯ノ上報告ス
 尙ホ右ハ一般商人ノ態度カ從前通り冷靜ナルヲ以テ格別反響ナキカ昨
 日本官毛交渉員面談ノ節毛ハ中央政府ニ於テハ早晚反日外後援會解
 散ノ方針ナリト洩シタルカ右ハ党務指導委員會宣傳部ノ態度ニ鑑ミ
 聊カ矛盾ノ感アルモ之ノ點ニ就テハ毛ハ何等明確ナル説明ヲ爲ササリ
 キ
 本信寫送附先、在支公使、上海、漢口、廣東、九江、南京、各領事官

(已號用紙)

4/2, 11/12

在長沙領事館

亞細亞局

亞細亞局 第二課

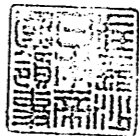
昭和三年八月廿五日接受 (已號用紙)

公信第一六七號

昭和三年八月九日

在長沙

領事 糟谷 二



外務大臣男爵 山中 義一 殿

排日宣傳記事ニ關スル件

當地ニ於ケル排日運動ニ關シテハ客月十四日附公第一五八號拙信ヲ以
 テ報告ノ通り中央党部及政府ハ排日運動カ所謂軌外行動ニ出テサル限
 リ之ヲ看過及至支持スル方針ナルカ如ク當地ニ於テモ地方治安ニ影響
 ナキ程度ノ運動ナレハ之ヲ看過シ居ル處其ノ現レトシテ各軍長政治訓
 練處等ニテモ從來屢々經濟絕交ヲ提唱シ居タルカ今英般又中國國民黨
 湖南省党務指導委員會宣傳部ハ政府ノ機關新聞タル湖南國以日報紙上

日帝國主義者ノ武力的經濟的對華侵略政策ハ從來成功ト見做サルヘキ處日帝主義者ハ事實ニ於テ國內的危險ニ瀕シ政治上ニ於ケル元老操縱政治ハ人格及力量ナキ政客ヲシテ組閣セシメ財閥ノ橫暴、武力ノ濫用ヲ擅ニシ普選ヲ有名無實ニ陥ラシムル等國比ノ反感ヲ買ヒ革命ノ醸成ヲ促進スルト共ニ經濟上ニ於ケル財政ノ逐年的膨脹ハ國比ノ負擔ヲ加重セシメテ金融ノ恐慌、對外輸出ノ減少ヲ招致シ生産方面ニ於ケル鐵、石炭、食料及原料ノ不足ニ惱メリ然レトモ日本帝國主義者ノ之等根本的動搖力從來表面的ニ一ツトシテ爆發セサルハ一ツニ中國侵略ニヨル利益ヲ以テ維持セル爲メニテ若シ中國ノ比衆カ此際一齋ニ奮起覺悟スルトコロアラハ日本ノアラユル危機ハ忽チ爆發スヘシ現時日帝國主義者ハ中國ノ革命勢力ニ對シ全力ヲ竭シテ壓迫セルカ右ハ中國革命成功ニヨリ日帝國主義者ノ崩壞ヲ恐ルル故ニテ日支兩國ハ事實兩立シ難キ地位ニアリ尤モ中國カ日本ニ打勝ツニハ決シテ武力ニアラスシテ經濟絶交ニアリ經濟絶交ハ兩方面ノ意義ヲ有シ一ハ日貨不買ニテ之ニヨリ日帝國主義者ノ金融ハ忽チ恐慌ニ陥ルヘク他ハ原料不買ニシテ原料

在長沙領事館

(已號用紙)

ヲ日本ニ供給セサルコトニヨリ日帝主義者ノ商工業ハ漸次停頓スヘキヲ以テ吾人ハ武力的衝突ヲ避ケ一意經濟絶交ニ邁進セハ日帝國主義者ノ屈服ハ燎然タルモノニテ吾人ハ日本ノ爲メ悲シマサルヲ得ス
 思フニ中國ハ農業立國、土地廣大、出產豐饒、民族皆勤勞ヲ尙フ良風アレトモ何時シカ奢侈ノ風ニ染ミ外貨崇拜ノ惡風ヲ蔚成セルハ國比ノ精神的道德心ノ墜落ナレハ此際吾人ハ一齋奮起シテ外貨排斥ニ對シ先ツ國貨振興ヲ謀ルヘシ其ノ具体的方法トシテ
 第一農夫ハ專心農事ニイソシミ原料生産ノ増進ヲ謀ルヘシ
 工人ハ技術ヲ改良シテ生産能率ヲ増加シ以テ製造生産ノ發達ヲ謀ルヘシ現時帝國主義ノ國家ハ科學ヲ利用シテ農工業ヲ發達セシメ彼ノ過剩生産ヲ生産薄弱ノ國家ニ輸出シテ我等ノ金錢ヲ吸收スルト共ニ生産薄弱ノ國家ハ之等舶來品ニ代用スヘキ國貨ナキヲ以テ我國ノ市場ハ逐ニ彼等過剩生産ノ販賣場トナレルニ鑑ミ吾人ハ一
 致協力以テ之カ驅逐策ヲ講セサルヘカラス
 第二商人ハ國貨ノ販路擴張ニ努力シ需求ノ調節以テ交換ノ便ヲ謀ルヘ

在長沙領事館

(已號用紙)

シ我國ノ商人ハ多ク愛國心ニ富メル處中ニハ私腹ヲ肥スニ汲々タル奸商アリ仇貨（日貨）低制時モ甚シキニ至リテハ仇貨ヲ國貨ノ如ク裝ヒテ市場ニ出シ反ツテニセ宣傳ヲナスモノアルニ付吾人ハ之等一部不徳漢ノ消滅ヲ期シ貿易上ニ於ケル國貨販賣ノ責任カ一ニカカリテ商人ノ變肩ニアルヲ知ルヘシ

第三政府ハ更ニ短期間ニ全力ヲ盡シテ裁兵、開墾、築路、濬河等ノ一切ノ建設計畫ヲ實行シ以テ國家經濟ノ基礎ヲ鞏固ニスヘシ其ノ最モ緊要ナルハ科學ノ研究ヲ獎勵シ科學ノ應用ヲ擴張スヘク特殊ノ國貨創造ニ對シテハ製造開始前ニ補助ヲナスト共ニ製造完成後之ニ獎勵金ヲ給スル等實際的人才ヲ養成シテ國貨改良製造ノ準備ヲナスヘシ吾國ハ關稅條約締結後國際貿易上ニ於テ絶大ノ束縛ヲ受ケ以テ外貨ノ海關ニ納ムル輸入稅ハ反ツテ國貨ノ國內釐金局ニテ納ムル通過稅ヨリ廉キ寄現象ヲ呈シ以テ外貨ノ價格ハ國貨ニ比シ低シ、外貨ノ賣サハキ容易ナルト國貨ノ失敗ニ鑑ミ政府ハ海關ノ回收ニ努力スヘク回收後ハ更ニ保護關稅政策ヲ採用スヘシ

在長沙領事館

(已號用紙)

第四社會上一般民衆ハ使用上ニ於テ國貨獎勵ノ責任ヲ負ヒ外國銀行ニ預金スルナク外國會社ニ保險ヲ附スルナク又外國儲蓄會ニ儲蓄スル勿レ總理カ民族主義中經濟壓迫ニ關シ六項ヲ列擧セル通り毎年ノ流出金額ハ十二億元ナルカ其ノ大部分ハ外貨ノ支拂及外國銀行ヲ利セシムルノミナリ依テ現時ノ救濟方法ハ先ツ中國固有ノ棉糸、織物品、糧食、茶、練瓦、木材、航業等ヲ整理改良シ產額ヲ増加シテ自給ヲ計ルヘク中國ニ生産セサル毛織物類ハ短期間内ニ資本ヲ結合シテ製造ニ從事シ其他ノ品物或ハ不必要ノ消耗品ニシテタトヘ國內ニ生産ナクトモ一時欲望ヲ克制シテ將來ノ生産力富裕ノ時ヲ俟ツヘシ

(已號用紙)

在長沙領事館

一、本條例ハ本會第十六次常會ニ於ケル議決案ニ依據シテ之ヲ制定ス
 二、本條例ハ仇貨（日貨）ノ來源ヲ杜絶スルヲ以テ目的トナス
 三、若シ中國好此ニシテ外埠ヨリ仇貨ヲ販運シ來リ又ハ直接仇貨店（日本商店）ニテ貨物ヲ購買スルモノアラハ本會ハ本條例ニ根據シテ之ヲ懲治スルコトヲ得、其ノ未タ特種印花ヲ貼布セサル仇貨ヲ販運スルモノモ亦同シ
 四、好此カ仇貨ヲ販運セルコトヲ查出シタルトキハ其ノ貨物ヲ沒收シ更ニ該貨物ノ價格ニ相當スル罰金ニ處スルノ外該貨主ヲ取締シ又ハ該商店ヲ封閉スルコトヲ得
 五、好此カ日本商店ニ於テ貨物ヲ購買シ又ハ本國商店ニ於テ特種印花ヲ貼布セサル仇貨ヲ購買シタルトキハ其ノ處罰ハ第四條ノ仇貨販運ノ場合ニ同シ
 六、何人タルヲ問ハス仇貨ヲ販運シタルモノ日本商店ニテ貨物ヲ購買シタルモノ又ハ本國商店ニ於テ未タ特種印花ヲ貼布セサル仇貨ヲ購買シタルモノヲ密報シタルモノニ對シテハ之ヲ査獲シタルトキ

在長沙領事館

懸案

42,112

郵政局

通商局

第三課

昭和三十九年九月拾壹日

（已號用紙）

公債第一七五號

昭和三年八月二十四日

在長沙

領事

榎谷 廉一



外務大臣野田 山 中 統 一 殿

湖南人以反日外交後援會ノ懲治好此條例公布ニ關スル件

當地反日外交後援會ノ動靜ニ關シテハ屢次報告ノ通ナル處今般向會ハ對日經濟絶交ヲ更ニ徹底セシムルノ趣旨ヲ以テ左記詳文ノ通り懲治好此條例計八條ヲ規定公布シタリ右ハ上海方面ニ於ケル所謂好此懲治ノ苛酷ナルモノトハ異ナリ至極月並ノモノニシテ之カ爲メ排日運動ヲ現在以上深刻ナラシムルモノトハ思惟セラレス

左記

在長沙領事館

（已號用紙）

該貨物價格ノ百分ノ三十ノ獎金ヲ給スルコトヲ得
 本條例ニ若シ未タ盡ササル事宜アルトキハ執行委員會ニ於テ之ヲ修
 改スルコトヲ得
 本條例ハ公布ノ日ヨリ施行ス
 八月二十四日
 右御參考迄報告ス
 本館寫進附先、在支公使、在上海、汉口、南京各領事館

(已號用紙)

在長沙領事館

412.1112

亞細亞局
 亞細亞局
 亞細亞局

通商局

公信第二四三號

昭和三年十二月二十日

在長沙

領事館事務代理 有久直忠

外務大臣 田中 一 殿

拊日運動狀況報告ノ件

當地ニ於ケル拊日運動ノ狀況ニ關シテハ屢次ノ報告ニ依リ大体御承知
 ノ通りニシテ茲ニ支那各地拊日團體ノ聯絡及統一ヲ期スル目的ヲ以テ
 南京ニ全國反日會ナルモノ組織セルルヤ當地反日外交後援會モ之ニ隸
 屬スルコトトナリテ名稱ヲ湖南反日會ト改メ又各縣ニハ縣反日會ヲ設
 ケテ相互聯絡シ全省ニ互リ相當組織的ニ根強ク日貨排斥運動ヲ繼續シ
 來レルカ今般更ニ「特加印花」ナルモノヲ設ケ各商店ニ調査員ヲ派

在長沙領事館

登記簿ノ支那

シテ其手持日貨ノ登記ヲ履行ヤシメテ（登記簿ノモノニハ特加ノ印紙ヲ貼付ヤシメ之ナキモノハ沒收ス）日貨來源ノ杜絶ヲ圖ル一方主ナル本邦商店所在地附近ニ調査員（密偵）ヲ派シテ内々邦商ト取引スル所諸奸商ノ取締ニ努ムル等

例之 十一月中當地邦商中島洋行ヨリ支那商ニ賣込ノ綿布六十疋ヲ運搬スル途中密偵ニ發見セラレ差押ヘラレタル事件

アリ（交渉員ヲ通シ嚴重交渉ノ結果無事引取ルコトヲ得タリ）

一 邦商雇傭支那人カ支那商店ニ出入スルカ如キ場合ニ於テモ調査員ハ該支那商ノ張薄ヲ提出ヤシメテ邦商トノ取引關係ノ有無ヲ取調ヘ更ニ甚シキニ至テハ

一 本月初支那商カ常徳向硝子十五箱ヲ敷生昌「ハルク」ヨリ同局汽船ニ積込ノ際反日會員ノ爲メ「日本船ニ積ムヘカラス」トテ否應ナク拉去セラレタルコトアリ（「」ノ場合ト同様交渉員ニ嚴重談判ノ結果近ク引取ヲ了スル管）

在長沙領事館

（已號用紙）

本運動ハ愈深刻味ヲ加ヘ來リ近來邦商ノ店頭ニハ殆ント支那人顧客ノ影ヲ見サル状態トナレリ

之カ爲メ邦商ニ於テハ是等密偵ノ目ヲ掠ムル爲メ或ハ夜陰ニ乘シ或ハ裏門等ヨリ密カニ商品ヲ小分ケシテ持出シ僅カニ取引ヲ繼續シ居ル状態ニシテ從來支那例ニ代用品ナキ故ヲ以テ賣行最良好ナリシ藥材ストラ軍界ニ對スル一部納入品ノ外殆ント賣上ナク藥種商ノ賣上ハ平時ニ比シ約四割方ノ減少ナリト云フ

然レ共綿布砂糖等ノ如キハ外國品ニテハ採算上到底引合サルヲ以テ近來是等貨物ニ對シテハ支那商ニ於テ秘ニ包裝或ハ「マーク」ヲ改變スル方法等ニ依リ依然本邦品ノ輸入ヲ繼續シ居リ其數相當額ニ達シ居レリトノコトナリ（同様ノ方法ニ依リ諸雜貨モ相當輸入セラレ居ル見込、前記硝子モ内容ハ日本品ナリト聞ケリ）尤モ反日會モ本邦人ニ對シテハ直接何等妨碍ヲ加フルコトナク前記ノ如ク主トシテ之カ取引ノ相手方タル支那商ヲ壓迫シ間接ニ本邦品ノ取引ヲ妨害スル等成ル可ク我方ニ口實ヲ與ヘサル手段ニ出テ居リ一方民衆ニ對スル人氣取策トシテ

在長沙領事館

及リ、
一部、
其、
ア、

今般沒收或ハ罰金等ニ依リ得タル金品ノ内ヨリ三千五百元ヲ割キテ當
地公益事業ニ寄附(中山圖書館二千元、孤兒院七百五十元、貧女院七
百五十元)スル等其遺口從來ニ比シ甚タ巧妙ナルモノアリ
乍去其暴狀既ニ上述ノ如クナルヲ以テ一般支那商人ノ脅怖甚ク其業
レル打擊モ甚大ニシテ巷間反日會ニ對スル怨嗟ノ聲漸ク高マリツツア
リ、今回ノ排日運動カ斯クノ如ク組織的ニ根強ク行ハレ居ル所以ノモ
ノハ一ニ右運動カ日支交渉ヲ有利ニ導カンカ爲メノ中央ノ密令ニ依リ
「愛國運動」ノ美名ニ籍リ地方官憲ノ支持乃至少ク共默認ノ下ニ行ハ
レ居ル故ニシテ現ニ常ニ排日團體ト利害相反スル立場ニ在リ絶ヘス之
ト反目シ來レル總商會スラ今回ハ進ンテ反日會ト行動ヲ一ニシ標語五
則(一)日支交渉ニハ日本ハ全權代表ヲ派遣スヘク領事ヲ以テ之ニ充ツ
ヘカラス、(二)日支交渉談判開始前ニ先ツ以テ日本ハ其在支駐屯軍ヲ撤
去スヘシ、(三)日支交渉ニ於テ日本ハ日支間ノ一切ノ不平等條約ノ廢棄
ヲ聲明スヘシ、(四)濟南事件ニ對シ日本ハ全責任ヲ負フヘシ、(五)日支交
渉ノ内容ハ絶對ニ公開スヘシ)ヲ規定シ之ヲ各貨物包裝面ニ捺書シテ

(已號用紙)

在長沙領事館

宣傳ニ努メ居ル有様ナリ
之ヲ要スルニ當地ハ他地方ト異リ人氣極メテ惡ク日頃排外熱熾シナル
土地柄ナルヲ以テ排日運動ノ將來モ俄ニ樂觀ヲ許サス政府ノ對反日會
態度硬化スルカ商人側カ切崩シ運動ヲ試ミサル非ル限リ當分終熄ノ
見込ナシト觀測セララル

右報告ス
本信寫送附先、在支公使、上海、漢口、南京、九江各公館長

(已號用紙)

在長沙領事館

レタルモノナリト云フ

裝ニ省當局ニ於テハ共産分子ノ策動ヲ虞レ一切ノ示威遊行ヲ禁シ居ル次第ニモアリ本宣傳週モ大事ニ至ルヘシトモ思ハレサルモ日頃排外熱ノ熾ンナル當地ノ事情ニ鑑ミ小官ハ早速一般在留邦人ニ對シ注意ヲ與ヘルト共ニ交渉員李芳ニ對シ口頭ヲ以テ反日會ノ越軌行動取締方ニ關シ嚴重注意ヲ喚起シタルニ(省當局ノ反日會ニ對スル態度前記拙信所報ノ通りナルヲ以テ公然抗議スルモ其效ナカルヘキ而已ナラス却テ彼等ノ逆宣傳ニ利用セララルル虞アルヲ以テ不可ト存ス)李ハ右取締ハ勿論本邦人ノ生命財産ノ保護方ニ關シテハ充分職責ヲ盡スヘキ旨答ヘタリ

記

一、個別宣傳(各個人ニ對シ反日ヲ宣傳ス)

二、戸別宣傳

三、茶館料理店ニ於ケル宣傳

四、街上宣傳

在長沙領事館

412.1112

通信第二四四號

昭和三年十二月二十一日

在長沙

領事館事務代理 有久直忠

外務大臣男爵 田中義一 殿

排日運動狀況報告ノ件

本月二十日附通信第二四三號拙信ニ關シ

反日會ハ本月二十四日ヨリ向フ一週間各學校ヨリ二隊(一隊五名)宛ノ宣傳員ノ應援ヲ得テ大体左記ノ方法ニ依リ大々的ニ「反日宣傳週」ヲ舉行スルコトトナリタル趣ナリ

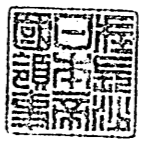
本宣傳週ハ裝ニ南京全國反日會ノ命令ニ基キ十二月一日ヨリ向フ一週間各地ト同時ニ舉行スル筈ナリシモ準備整ハサリシ爲メ延引セラ

在長沙領事館

(已號用紙)

通商局

昭和四年壹月八日 已號用紙 接受



- 五、各城門、司門及貢院廣場ニ反日宣傳油畫ヲ貼布ス
- 六、各街ノ入口及十字街ニ布製ノ標語ヲ貼布ス
- 七、各戸門口ニ標語ヲ貼布ス
- 八、各人力車ニ標語ヲ貼布ス
- 九、宣傳網要五千、宣言一万枚ヲ印刷ス
- 十、各界ニモ宣傳隊ヲ組織セシメ且公安局ニ對シ宣傳隊ニ對スル十分ナル保護方ヲ要ス
- 十一、反日劇ヲ演セシム

以上

右不取敢報告ス

本信寫送附先、在支公使、上海、漢口、南京、九江各公館長

(已號用紙)

在長沙領事館

電信寫

127

分類 A.1.1.0.2-4

昭和三一七三〇〇 暗
田中外務大臣
第五九號

長沙 本省

十二月廿九日前着

有久事務代理

本月二十四日邦商中島洋行カ日清倉庫ヨリ綿布五箱(百四十匹)ヲ倉出シ家宅ニ運搬ノ途中小西門警令局員ノ爲新統稅規則ニ依リ統稅ヲ納付セサレハ通行ヲ許サストテ之カ運搬ヲ阻止セラレタル事件アリ當館ニ於テハ早速交渉員ヲ通シ嚴重抗議ヲ申入レタルモ支那側ノ回答要領ヲ得ス次テ二十七日杏林堂及磨貫堂モ同様運搬ヲ拒マレタルヲ以テ夫々當館ニ於テ支那側ト交渉中ノ處同日交渉員ヨリ公文ヲ以テ湖南省政府ニ於テハ十二月十五日ヨリ命令ヲ廢止シ統稅ヲ實行スルコトトナリタル趣ヲ以テ右規則、稅率及施行細則等(全文郵報)ヲ送付越シ且右一般邦商へ周知方取計ハレ度キ旨申越シタルニ付小官ハ不取敢本日本邦人ハ條約ノ規定ニ依リ此ノ種課稅納付ノ義務ヲ有セサルニ付邦商ニハ絕對ニ之ヲ賦課セサル様抗議ヲ提出スルト共ニ前記貨物ノ無稅通過方重ネテ申入レ置キ他方本日館員ヲシテ英國領事ノ意向ヲ確カメシメタルニ英國トシテハ當地ニ於テ格別ノ利害關係モナク且自國商人ヨリモ未タ何等ノ苦難申出ナキニ付別ニ抗議ハ提出セサル積リナリト答ヘタル由ナリ

引續ク毎日ニ疲憊シ居ルニ加ヘ目下年關ヲ差控ヘ居ル今日此ノ種事件ハ邦商ノ苦痛トスル處ニシテ小官モ折角嚴重交渉中ナル

在支公使、上海ニ歸電シ漢口、南京、九江ニ暗送セリ

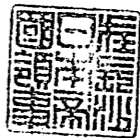
通商局

公信第七號

昭和四年一月九日

在長沙

領事館事務代理 有久直忠



外務大臣男爵 田中義一 殿

亞細亞局

三滿

反日宣傳週狀況報告ノ件

本件ニ關シテハ不取敢客年十二月二十一日附第二四四號掛信ヲ以テ及御報告置キタルカ豫定ノ通り二十四日ヨリ舉行初日ニハ午前各學校各團體ニ於テ反日宣傳週儀式ヲ舉行シ反日意義及對日經濟絶交ノ實行辦法等ヲ講演セシメ式後各宣傳員ハ反日會所定ノ地域ニ出張リ傳單ヲ撒布シツツ各個人又ハ一軒毎ニ廻リ或ハ市内目拔キノ場所、料理店、茶館、活動寫真館、各戸ノ門口及各人力車等ニ傳單標語ヲ

在長沙領事館

128

412,1112

(已號用紙)

129

貼布シツツ反日ヲ宣傳スル一方反日會側ニ於テモ假裝行列ヲ催シ音樂隊ヲ先頭トシテ夫夫標語ヲ高唱シ乍ラ市中目拔キノ場所ヲ遊行其後モ引續キ毎日右宣傳遊行ヲ繰返シタルカ最終日ノ二十九日ニハ教育會廣場ニ於テ反日劇ヲ舉行セリ傳單ノ内最モ多ク見受ケラレタルハ上海ニ於ケル日支交渉ニ關スルモノト濟南事件、在支駐屯軍撤兵問題等ナリシカ會期中漢口ニ於ケル本邦陸戰隊機銃車ト衝突セル支那人車夫水杏林死亡事件カ當地ニ傳ハルヤ二十八日早速同事件ヲ材料トセル反日傳單一萬五千枚ヲ印刷撒布セリ
今回ノ反日宣傳週ニハ毎日各學校各團體ヨリ約二百隊ノ宣傳員ノ應援參加アリ反日會ハ毎日審査員ヲ派シテ是等宣傳員ノ宣傳振リヲ報告セシメ講師ノ上各宣傳員ヲ督勵シタルモ概シテ氣勢揚ラス殊ニ二十五、二十六、二十七日ノ三日間ハ雨天續キニテ宣傳員モ出遊リ氣味ナリシカ如ク一般民衆ノ之ニ對スル態度亦極メテ冷淡ニ見受ケラレタリ加フルニ長沙警備司令部及公安局ニ於テハ豫豫共產黨ノ策動

在長沙領事館

ヲ虞レ居ル次第ニモアリ反日宣傳員及假裝遊行隊保護ニ名ヲ籍リ軍
 警ヲ派遣同行セシメテ其ノ越軌行動ヲ取締リタル爲メ何等事故ナク
 平穩ニ經過セリ今標語ノ主ナルモノヲ列記セハ左ノ如シ
 打倒危害中華民族生存的日本帝國主義
 打倒屠殺濟南民衆の會子手日本帝國主義
 中日交渉日本須遣派全權代表向我交渉不得以領事充數
 中日交渉在未開始談判以前駐華日軍須完全撤退
 中日交渉日本須事先聲明廢除中日間一切不平等條約
 日本對濟南慘案須負完全責任並承認道義懲兇及賠償我國一切損失
 中日交涉內容須絕對公開並須接受民衆意見
 在中日間新約未訂定以前日本須聲明遵守雙方絕對平等的相互原則
 對日經濟絕交是打倒日本帝國主義的唯一武器
 各界民衆一致起來抵制日貨提唱國貨
 反日運動是救國運動
 各界民衆要救中國危亡須一致起來參加反日運動

(已號用紙)

在長沙領事館

不達到中日間交涉勝利反日工作決不停止
 嚴懲破壞反日工作份子徹底抵制日貨做外交的後盾
 反日運動運動中嚴防共產黨的煽惑民衆乘機搗亂
 反日運動成功萬歲
 中華民族解放萬歲

右報告ス
本信寫送附先

在支公使
在上海、漢口、南京、九江各公館長

(已號用紙)

在長沙領事館

漢口
1月17日

六二七 時 長沙
本省 一月十七日 前着

田中外務大臣
有久事務代理

第一號
本官發漢口宛電報

第一號
貴電第二號ニ附シ

其ノ後支那領ノ態度依然舊ノテ冷靜市内ノ狀況モ特ニ本件ノ爲何
等懸念ヲ來セリトハ認メラレサルモ豫テ排日運動中ニモアリ殊ニ
最近反日團ノ橫暴益々激烈ヲ加ヘツツアル折柄(本件トハ關係ナ
キモ最近反日團ノ排商便用支那人在漢事件ニ件アリ本月十一日附

本官宛密第一三號(信御參照)排人中不安ノ念ヲ減平居ルモノ
計カラズ形勢必シモ樂觀ヲ許サルモノ有リ小官ハ排日支那領ノ
注意ヲ喚起スルト共ニ在留民ニ對シ自置方指示シ(我カ軍艦モ水
兵ノ上陸ヲ禁シ警戒中)今後ノ成行折柄注意中ナリ(本月十四日
附貴總領事宛密電公領第二號御參照)
本電貴電ト共ニ大臣、公使、上海、南京ニ轉電セリ

電信寫

135

漢口

秘

昭和4 六二九 暗 長沙 本省 一月十七日前着 亞

田中外務大臣 有久事務代理

第二號

漢口發本官宛電報第二號

當地罷工問題ニ關聯シ貴地方ニ波及ノ形跡ナキヤ狀況爲念電報ア

リタシ

在長沙日本領事館

動ハ最近逐々ニ峻烈味ヲ加ヘ來リ反日會ハ終日本邦商店（現在中島洋行及嘉泰洋行ノ二出張店）ノ門前ニ監視員ヲ常置シテ支那人顧客ノ出入スルヲ許ササル而已ナラス甚シキニ至リテハ出張員ノ食料其物ノ日用品買入ヲ妨害シ或ハ其便用支那人ニ對シテ工方強迫スル等其籍乘振リ言語ニ絶シ到底安全ニ營業ヲ繼續シ得サル現状ナリ尤モ未タ身邊ノ危險ヲ感スル程ニモ非ルモ右事情當支店ヘ篤ト報告等々引揚ケ來レリ云々トノコトナリ

本信寫送兩元、 在支公使、

在上海、漢口各總領事、南京領事、

在長沙日本領事館

412,1112

排日狀況報告ニ關スル件

當地ニ於ケル排日狀況ニ關シテハ屢次ノ報告ニ依リ大體承認ノ通りニシテ其後モ依然根強ク自貨排斥ヲ繼續シツツアリ緩和ノ狀況認めラズ

管内各地ノ狀況ニ關シテハ前下冬季減水期ニテモ有之交通通信不便等ノ爲メ其詳細ヲ知悉スルニ困難ナル處今潭州、萍鄉ニ當地ニ引揚ケ來ル中島洋行出張員ノ報告スル處ニ依リハ同地ニ於ケル排日運

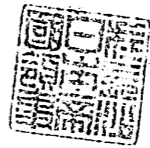
亞細亞局

信第西六號

昭和四年二月一日

在長沙

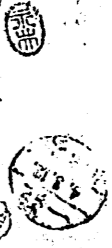
領事館事務代理 有久直忠



港商局

第二

昭和四年貳月拾八日接受



在長沙領事館

澤公使ノ來華ハ我外交當局ヲ欺瞞セントスルモノナリトテ彼等一流ノ排日演説ヲ爲シ更ニ上海ニ於ケル排日運動ノ狀況ヲ詳述シ吾人ハ日本帝國主義者ノ陰謀ニ對シテハ誓死奮闘セサルヘカラスト激勵シ午後六時頃散會シタニ趣ナリ

右編參考迄報告ス

本信寫字簡先。在支公使、上海漢口各總領事、南京領事

(已號用紙)

在長沙領事館

外務大臣男爵 田中 義一 殿

昭和四年二月九日 在長沙 領事館事務代理 有久 直忠

上海反日會派遣ノ反日宣傳員來湘ニ關スル件

茲ニ上海反日會ニ於テハ兩湖地方ニ於ケル排日宣傳並ニ漢口ニ於ケル水案慰問ノ爲メ周永年ナルモノヲ代表トシテ派澆右周某ハ數日前漢口ヨリ當地ニ來シル趣ニシテ當地反日會ニ於テハ昨八日午後三時ヨリ同人ノ歡迎會ヲ催シタル由ナルカ同歡迎會ニハ反日會ノ各幹部出席先ツ魏振邦ナリモノヲ主席ニ推シ型ノ如ク諸儀式一行ヒタル後主席魏某カ歡迎ノ辭ヲ述ヘタルニ對シ周某ハ謝辭ヲ述ヘタル後今回芳



昭和四年貳月廿六日 受

二月分長沙港輸出入貿易統計

概況

舊正前後ノ需要多ク荷動キ甚タ順調タツタ爲メ輸入ハ大体ニ於テ前月ニ比シ増加シテ居ル

就中増加シテ居ルモノハ外國綿製品類ニテ晒金巾ノ如キ前月ノ一倍半以上ニ上リ其他前月輸入ヲ見ス新ニ輸入セラレタモノカ少クナイ

外國雜貨ニ就テ前月皆無タツタ石油カ今月ニ入り十六萬五千一ガロン一ノ輸入ヲ見又燈及燈器輸入ハ八千七百餘兩ヲ示シテ前月ノ倍額以上ニ増加シ

支那雜貨ニ於テ精鹽又前月ノ約倍額ヲ示シテ居ル

之ニ反シ輸出ハ左程テモナク鉛、爆竹、茶油、桐油等何レモ前月ヨリモ減少シ就中鉛ハ前月ノ二十分ノ一ニ激減シテ居ル、今同月中ニ於ケル輸出入數量ヲ表記スレハ左ノ如クテアル（輸入品中ニハ日本品モ相當アル見込タカ目下排日期間中ニテ商標ハ勿論包裝等ヲ替へ輸入セラ

ルル爲メ其數量ハ判然シナイ）

在長沙領事館

4/2,003

長沙港輸出入貿易二月分統計進達ノ件

客月二十一日附公信第七五號所報一月分ニ引續キ二月分當港輸出入貿易統計表別紙二通進達ス同頁閱租成度シ

外務大臣男爵 田中 義一 殿

在長沙領事館

通商局
公信第九六號

昭和四年三月八日

在長沙

領事館事務代理

石久直忠

昭和四年三月廿六日接受

品名	担	足	担	担	担	担	担	担	担
全額ネチヤ 色物									
全額ネチヤ 模倣物									
全額ネチヤ 全カステキ									
全額ネチヤ 全カランネ									
全額ネチヤ 綿									
生金中									
土布									
綿糸									
外國金物類									
鉄系									
担	四〇五	二四五	一二八	七七八	六二八	二〇〇	三〇四	五〇〇	八〇〇

在長沙領事館

(已號用紙)

品名	單位	自十一日	自二十一日	自廿八日	合計
全額ネチヤ	足				
生金	足				
外國綿製品					
米國					
英國					
日本					
晒金中					
英國					
更紗					
綿糸					
黑無地					
全額ネチヤ					
自十一日		二一〇	六〇	四〇〇	六七〇
自二十一日		一〇〇			一三七二八
自廿八日		五四六五	一三二〇	一六三〇	二四〇
合計		二三〇	一三二〇	一五〇〇	一九九〇

在長沙領事館

(已號用紙)

砂糖(赤)	全(白)	全(赤)	蘇雜貨類	卷煙草	精塩	刈煙草	輸出	金物及礦石類	全(生)	全(酸)	鉛
担	担	担		担	担	担		噸	担	担	担
一〇〇四	四七一九	四七四		六		一六〇			三三〇	一五七	二八〇
									一四五	四五	
五九									四八〇	六五	六八
六二三	一九九六	二六六				三三六〇	三八三		九五五	二六七	二八〇
一六八六	六七一九	七四〇				三三六〇	五四三		九五五	二六七	二八〇

在長沙領事館

(已號用紙)

鐵線、釘	外國雜貨類	時計	染料(黑)	電氣材料及裝璜品	窓硝子	人造(ガソリン)	燈及燈器	機械	機械油	石油(米國)	燒ソーダ
担	担	担	担	担	担	担	担	担	担	担	担
九〇	六四六	三九〇八	八〇	四一四〇	三九	三〇五	三八七七	七五二	一五、〇〇〇	四五	
	五二六	四三六八	九五〇	二三三		一、三二五	一、六四五	三〇	五〇、〇〇〇		
	一三〇	一〇、六一八	五〇	三、〇〇九		五〇二	三、二四四	三、一五〇	四九六	一〇〇、〇〇〇	
九〇	一、三〇二	三、八八九四	一〇、八〇	七、三八二	三九	二、一三二	八、七六六	三、一八〇	一、二四八	一、六五、〇〇〇	四六

在長沙領事館

(已號用紙)

紙	菜	蓮	二
率	油	干	等
			紙
本	〃	〃	担
一 六 八			三 三 五
			五 五 二
三 三 六	七 〇	七 八	七 〇 三
五 〇 四	七 〇	七 八	一 五 九 〇

(已號用紙)

在長沙領事館

桐	茶	藥	麻	頭	爆	大	棕	豚	雜	錫
油	油	材	布	髮	竹	麻	呂	毛	貨	塊
〃	担	海 關 西	〃	〃	〃	〃	〃	〃	担	担
	三 〇	七 〇 七			二 二 〇 二					五 一
五 三 七	四 一 八	一 二 〇		三 二	一 五 七 〇	七 九		四 四	一 三 四	一 〇 九
	五 〇 四	五 九 六	三 一	四	一 〇 四 三		三 〇		二 五 二	一 二 七
五 三 七	九 五 二	一 四 二 三	三 一	三 六	四 八 一 五	七 九	三 〇	四 四	三 八 六	二 八 七

(已號用紙)

在長沙領事館

電信寫

蔣介石の電
11.0.2-4

昭和4 六二八六 暗
田中外務大臣
第三六號

長沙 本省 四月廿七日後着

支那公使館領事

通

當地方排日問題ニ關シテハ累次ノ報告ニ依リ御承知ノ通ナル處
案解決シタル今日モ別段緩和ノ狀認メラレサルニ付本官ハ往電第
三五號就任式參列後特ニ別室ニ於テ蔣介石及何健ニ面會本件ニ言
及シ先ツ支那側ノ誠意アル本件取締方ヲ要求シタル後差當リ來月
ニハ濟案一週年記念日ヲ初メ幾多ノ排日記念日アリ孰レモ排日會
ヲ中心トシテ夫々遊街其ノ他排日運動計畫中ノ趣聞込ミアル處日
支ノ國交力漸ク常道ニ復セムトスル折柄此ノ種計畫アルヲ聞クハ

甚タ遺憾トスル處ナルニ付之等記念日ニ際シテハ軌外行動ハ勿論
示威遊街等ハ特ニ充分取締ラレ度旨申入レタルニ蔣ハ之ヲ快諾シ
直ニ何ニ對シ右嚴重取締方命令スル處アリタリ
本件取締方ニ關シテハ往電第三〇號末段ノ次第モアリ支那側ニ於
テモ相當誠意ヲ以テ當ルヘク從テ目下ノ處何等事故ナク經過スヘ
シト察セラルルモ他方一般的排貨運動ハ下流方面ニ於ケル狀況緩
和セサル限り當地方ノミ今直ニ終熄スヘシトモ思ハレス今後共成
行折角注意スヘキモ不取敢
尙蔣介石ハ豫定ノ通本廿六日午後當地發汽車ニテ漢口ニ向フ由
前電ノ通轉電セリ

149
電信寫

分類 A11.0.2-4

昭和4 六四七五 暗

本省

五月一日前着

通

糟谷領事

田中外務大臣

第三八號

往電第三六號ニ關シ

廿九日何健ノ内話ニ曰ク同日舉行セラレタル新省政府成立後第一次總理紀念週ニ於テ濟案ハ既ニ解決シ其ノ他諸懸案ノ交渉順調ニ進捗中ナル旨ヲ報告シタリ又畿ニ南京ニ赴キタル省指導委員モ最近歸來シタルニ付同委員ニ對シ反日會ノ取締方ヲ求メ五月中ノ諸排日紀念日ノ運動ハ成ルヘク一回ニ取纏メ示威游街ヲ禁止シ屋内ノ講演其ノ他ノ方法ニ限定スル様申入レ置キタリ此ノ種運動ニ對シテ

今後トモ嚴重取締ルヘキモ急激ナル取締ハ却テ刺戟ヲ與ヘ面白カラサルニ付諒承アリタク尙衡州着後更ニ取締方留守代理者ニ電命スヘシ云々

當地市面平靜在留民亦安定シ居ルノミナラス前電蔣介石ノ何ニ對スル申含メモアリ旁目下ノ處何等突發事件發生セサル限り之等紀念日ハ平穩ニ經過スルモノト豫想セララル
支 漢口、上海、南京へ轉電セリ

150
電信寫

類 11.10.2-4

A

昭和三十四年 六七七三 晴 長沙 本省 五月五日 前着

電ノ排日改略

十五周

箱谷領事代理

記

第四〇號

田中外務大臣

濟南事件一週年ニ相當スル昨三日ハ反日會中心トナリ各種團體參加シ盛大ニ紀念大會ヲ開催スル豫定ニテ教育會ニ於テ舉式後示威游行ヲ行ヒ更ニ市中各戸ハ半旗ヲ掲揚シ各工場ハ舉式ノ時刻ニ一齊ニ汽笛ヲ鳴ラス計畫ナリシカ省政府ノ取締ニ依リ各會ノ代表者數十名會合簡單ニ學式シタルニ過キス學校ハ當局ノ命令ニ從ヒ平日ノ通授業ヲ行ヒ市中中國旗ヲ掲ケタルモノアルモ半旗トシタルモノナク汽笛ヲ鳴ラシタル工場ハ僅々二三ニ止レリ又各種機關

體新聞等ハ中央黨部ノ指令ニ基キ慣用的宣傳ヲ行ヒタルモ何等反響ナク市内平日ト異ナラス至極平穩ニ經過セリ尙同日反日會ハ五三慘案紀念碑建立ノ定儀式ヲ舉行セリ
本四日五週運動亦何ノ催シナク無事經過セリ
北平、上海、漢口、南京ニ轉電セリ

電信寫

151

11.1.0.2-41

R

昭和七年五月九日

長沙 本省 五月九日後着

田中外務大臣

槽谷領事

第四二號

五七紀念日ハ例ニ依リ新聞ニ各種排日宣傳掲載セラレタルノミニ
テ市中全ク平日ト異ラス無事經過セリ

支、上海ニ轉電シ

漢口、南京ニ暗送セリ

槽谷

記

REEL No. A-0020

0 : 1 8

アジア歴史資料センター

外務省

ノ課業ニ於テ教科書及各教師ノ口授等ニ依リ排外排日教育ヲ施シツツアルカ其ノ甚タシキ實例トシテ本年初頭有久書記生カ當地二三學校視察ノ際生徒成績品陳列場ニ於テ五三事件ニ關スル生徒ノ反日的作文ヲ目撃シタルコトアル由ナルカ更ニ最近ノ實情ニ關シ支那學校ニ關係アル邦人ヲシテ内密取調ヘシメタルニ

(1)各學校就中初級中學女學校小學校等ニ於テ唱歌トシテ反日歌ヲ授ケ(續ク)

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次官 大臣

電信課長

6.12.9/21

昭和4 八〇〇八 暗 長沙 五月廿六日 發 亞
本省 五月廿六日 前着

田中外務大臣
糟谷領事

第四七號ノ一
上海宛貴電合第二八二號ニ關シ
各排日紀念日等ニ際シテハ豫メ各會代表ヲ省黨部ニ召集シテ省指導委員ヨリ特ニ當該事件ニ關スル中央黨部ノ排日宣傳大綱ヲ授クル外平常ニ於テハ

(一)軍隊方面ニアリテハ主トシテ政治訓練部ヨリ愛國運動三民主義等ノ教育ニ際シ一般的排外思想ト共ニ排日思想ヲモ注入シ又

(二)學校方面ニアリテハ主トシテ小、中學校ノ歴史地理作文唱歌等

外務省

通ノ中樞ナルニ拘ラス日人之ヲ掌握ス我國ノ生命危殆ニ類セリ
云々ト教ヘ

領事裁判權ハ中央ニ於テ撤廢セル趣ナルニ拘ラス日英兩國カ未
タ之ニ贊成セサル結果其ノ他ノ國ヲシテ決意ヲ躊躇セシメ居レ
リト教フ

(二)更ニ生徒ノ日常用品ニ付テ見ルニ被服用材料ノ購入ニ際シ見本
ヲ掲ケテ日本品ヲ仇貨トシテ之カ使用ヲ禁止シ

寄宿舎ニ於ケル食器、洗面器、枕等ニ「勿忘五九」「勿忘仇敵」
等ノ排日的文句ヲ記シ生徒ヲシテ朝夕排日ノ文字ニ親シマシム
凡ユル方面ニ於テ排日思想ヲ吹込ミ居レリ

尙引續キ更ニ取調中ナルモ右不取敢一應電報ス

外務省

寫送先

大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

電信課長

昭和4 八〇二八 暗

長沙 本省

廿四日前發
五月廿六日後着

亞

田中外務大臣

第四七號ノ二

(四)地理歴史等ニ於テ

「厦門ノ商業的頽廢ノ理由如何」ナル題下ニテ「日本カ我臺灣
ヲ強奪シ近海貿易ノ實權ヲ掌握セルニ依ル」ト教ヘ

生徒ヲシテ旅順大連青島濟南等ノ地圖ヲ畫カシメ之ニ説明トシ
テ「矮兵」又ハ「日本獸兵之ヲ專占云々」或ハ「蔡公時無人道
的ニ慘殺セラレ云々」等ノ文句ヲ記入セシム

(三)民主主義其ノ他ノ科目ニ於テ滿洲ニ於ケル鐵道郵便等ハ我國交

外務省

郵

郵局第一號

郵局第一號

公

4/2, 11/12

拆日運動狀況報告ノ件

當地昨日運動取締方ニ關シテハ當方屢次ノ抗議ニモ拘ラス今尙之カ緩
和ノ狀ナク從來通り反日會ハ邦商居住地附近ニ密偵ヲ派シテ間接或ハ
直接ニ日華商人ノ日貨賣買ヲ阻止スルト共ニ支那商人ニシテ日貨購入

外務大臣男爵 田中 義一 殿

公信第一八三號

昭和四年六月四日

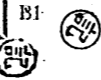
在長沙

領事 榎谷 廉二



通商局

在長沙 昭和四年六月拾八日接受
日本領事館



北平、上海へ轉電セリ

外務省